

令和7年度事業報告

1 配合飼料価格差補てん事業（事業対象年度：令和7年度～令和10年度）

配合飼料価格の変動が及ぼす畜産経営の影響を緩和するため、配合飼料価格安定制度の下、制度加入生産者及び一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金（以下「全日基」という。）と価格差補てん事業に必要な年度当初における数量契約、通常補てん積立金等に付随する業務等を実施した。

(1) 価格差補てん契約の締結並びに解約動向（令和7年度）

当初契約		期間中における増減内容				
115,967 トン（160 戸）		期 別	件数	増数量	解約数量	事 由
乳用牛	13,059 トン(51 戸)	第 1 四半期	—	—	—	①廃業（1）
肉用牛	22,711 トン(89 戸)	第 2 四半期	—	—	—	②購入中止（—）
豚	10,138 トン（6 戸）	第 3 四半期	—	—	—	③基金間移動
採卵鶏	11,099 トン（7 戸）	第 4 四半期	3	—	1,308	（—）
肉用鶏	58,960 トン（7 戸）	計	3	—	1,308	④その他（2）

（参考）令和8年度契約数量 114,371 トン 契約件数 159 戸

（参考）加入者及び契約数量の推移

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加入者数(人)	157	163	168	164	160
契約数量(t)	129,934	128,917	124,764	115,909	115,967

(2) 基金間移動に伴う契約状況（該当なし）

契約数量の 増 減	内 訳			
	増		減	
—	— トン (— 名)	—	— トン (— 名)	—

(3) 通常補てん生産者積立金の徴収及び納付

区 分	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	合 計
契約数量(トン)	28,727	27,942	29,930	28,060	114,659
積立単価(円)	800	800	800	800	—
積立金(円)	22,981,600	22,353,600	23,944,000	22,448,000	91,727,200

※ 積立金単価 2,400 円/トン（生産者 800 円/トン、メーカー 800 円/トン＋特別積立 800 円/トン）

(4) 別途納付積立金の徴収及び納付（該当なし）

区 分	件 数(件)	納付金単価(円/トン)	対象数量 (トン)	別途納付金額 (円)
新規加入者	—	—	—	—

(5) 価格差補てん金の交付

期 別		補てん金単価 (円)		対象数量 kg	補てん金額 (円)		
		通常	異常		通 常	異 常	合 計
R7	第 1 四半期	—	—	—	—	—	—
	第 2 四半期	—	—	—	—	—	—
	第 3 四半期	—	—	—	—	—	—
	第 4 四半期	1,750	—	24,400,607	42,701,057	—	42,701,057

2 畜産環境整備機構リース事業（畜産高度化支援リース事業）

リース事業に係る既存貸付施設の貸付料徴収、保険更新手続き等を行った。

令和 7 年度における貸付案件はなかった。

3 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（事業対象年度：令和 7 年度～令和 11 年度）

指定協会（公益社団法人鳥取県畜産推進機構）からの事務委託を受け、個体登録関係書類の受理・送付、生産者積立金の徴収等を行った。

なお、令和 7 年度の登録頭数、積立金、生産者補給金の交付実績は次のとおり。

(1) 肉用子牛個体登録頭数（令和 7 年 1 月～12 月）

区 分	黒毛和種	交雑種	乳用種	合 計	備 考
登録頭数(頭)	110(135)	483 (641)	655 (503)	1,248 (1,279)	事業参加者 4 名

※（ ）は前年度数値

(2) 生産者積立金の状況（令和 7 年度）

区 分	積立単価 (円/頭)				対象頭数 (頭)	生産者積立額 (円)
		国 1/2	県 1/4	生産者 1/4		
黒毛和種	1,600	800	400	400	106	42,400
交 雑 種	2,400	1,200	600	600	581	348,600
乳 用 種	5,000	2,500	1,250	1,250	383	478,750
合 計	—	—	—	—	1,070	869,750

(3) 交付金の交付状況（令和 7 年 1 月～12 月）

交付実績なし

4 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業対象年度：令和 7 年度～令和 9 年度）

指定協会（公益社団法人鳥取県畜産推進機構）からの事務委託を受け、個体登録関係書類の受理・送付、生産者積立金の徴収及び納付等を行った。

なお、令和 7 年度の登録頭数、積立金、交付金の交付実績は次のとおり。

(1) 肥育牛個体登録頭数（令和 7 年度）

区 分	黒毛和種	交雑種	乳用種	合計	備考
登録頭数(頭)	227(287)	926(805)	864(985)	2,017(2,077)	事業参加者 13 名

※（ ）は前年度数値

(2) 生産者積立金の状況（令和7年度）

区 分	積立単価（円/頭）				対象頭数（頭）	生産者積立額(円)
		国 3/4	県 1/12	生産者 1/6		
黒毛和種	68,000	51,000	5,660	11,340	375(143)	4,252,500
交 雑 種	68,000	51,000	5,660	11,340	1,005(730)	11,375,340
乳 用 種	72,000	51,000	6,000	12,000	1,134(1,006)	13,608,000
合 計	—	—	—	—	2,514(1,879)	29,235,840

※ 在庫牛の再納付分、交雑種において早期出荷分 8 頭（@8,670 円）を含む。

(3) 交付金の交付状況 (令和7年1月～12月)

期 別	品 種	生産者数(戸)	交付頭数(頭)	交付単価(円)	交付金額(円)
1 月	肉専用種	4	11	41,390.1	455,290
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	73	53,238.6	3,886,416
2 月	肉専用種	2	9	11,262.6	101,363
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	74	32,234.4	2,385,345
3 月	肉専用種	3	8	11,339.1	90,712
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	60	21,478.5	1,288,709
4 月	肉専用種				
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	73	21,422.7	1,563,855
5 月	肉専用種				
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	63	29,549.7	1,861,629
6 月	肉専用種	3	21	9,244.8	194,139
	交 雑 種	5	52	6,866.1	357,035
	乳 用 種	4	80	27,264.6	2,181,166
7 月	肉専用種				
	交 雑 種				
	乳 用 種	3	72	41,716.8	3,003,608
8 月	肉専用種	4	22	41,899.5	921,787
	交 雑 種	6	57	7,277.4	414,810
	乳 用 種	3	74	33,453.9	2,475,587
9 月	肉専用種	5	20	23,297.4	465,946
	交 雑 種	6	74	10,432.8	772,024
	乳 用 種	4	89	33,977.7	3,024,013
10 月	肉専用種	4	31	22,713.3	704,110
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	80	9,699.3	775,943
11 月	肉専用種				
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	65	24,517.8	1,593,655
12 月	肉専用種				
	交 雑 種				
	乳 用 種	4	76	64,852.2	4,928,765
合 計	肉専用種	—	122	—	2,933,347
	交 雑 種	—	183	—	1,543,869
	乳 用 種	—	879	—	28,968,691
	計		1,184		33,445,907

(前 年)

(1,501)

(52,865,363)

5 肉豚経営安定交付金制度（事業年度：令和6年度～令和8年度）

生産者2名から事務委託を受け、申請書等関係書類の作成支援及び受理、独立行政法人農畜産業振興機構への書類送付、連絡調整等の事務を行った。

令和7年度は、交付金の交付実績はなかった。

(1) 生産者積立金の状況（令和7年度）

区 分	積立単価（円/頭）				対象頭数（頭）	生産者積立額(円)
		国 3/4	県 1/12	生産者 1/6		
第1四半期	1,600	1,200	133	267	500	133,500
第2四半期	1,600	1,200	133	267	550	146,850
第3四半期	1,600	1,200	133	267	600	160,200
第4四半期	1,600	1,200	133	267	600	160,200
合 計	—			—	2,250	600,750

(2) 交付金の交付状況（令和7年度）

交付実績なし

6 畜産振興事業（配合飼料高騰対策等）

配合飼料高騰対策等、国、県等の事業が実施され、関連事務を実施した。

(1) 畜産経営緊急救済事業（うち肉牛経営支援：鳥取県単独事業）

（制度の概要）

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）により、肥育牛の販売価格が生産費を下回った場合、その差額の9割が補てんされるが、残り1割部分の1/2（差額の5%相当）を補助するもの。

（事業の実施状況）

本基金協会での事務手続きはなかったが、所轄の生産者への補助金交付状況は次のとおりであった。

補助金交付状況（令和7年1～12月）

品 種	生産者数(戸)	交付頭数(頭)	交付金額(円)
肉専用種	7	122	148,100
交雑種	6	183	85,686
乳用種	4	806	1,392,994
合 計	(13)	1,111	1,626,780

(2) ① 優良和子牛生産推進緊急支援事業（(独)農畜産業振興機構事業）

② 和子牛基盤強化緊急特別対策事業（(独)農畜産業振興機構事業）

（制度の概要）

① 和子牛の全国平均販売価格が発動基準価格を下回った場合に、発動基準によって1～3万円の奨励金が交付されるもの。

② ①に加え、基盤強化取組により1万円の奨励金が交付される。

（事業の実施状況）

公益社団法人鳥取県畜産推進機構から事務委託を受け、1名の事業参加申し込み手続きを行った。

令和7年度の事業発動はなかった。

(3) 鳥取県和子牛価格対策事業（鳥取県単独事業）

（制度の概要）

鳥取県の和子牛販売価格が61万円を下回った場合、国の補てん（肉用子牛生産者補給金等で交付される額）を除き、その差額の3/4について補助される。

補助金交付実績（令和7年度）

対象月	対象頭数(頭)	交付単価(円)	交付金額(円)
6月	16	3,728	59,648
10月	16	18,951	303,216
合 計	32		362,864